

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(三大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0259

(注)本稿は 2013 年 3 月 27 日、28 日、29 日の 3 回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.3.29

前田 高行

三大国際石油企業 2012 年度業績速報シリーズ:ExxonMobil, Shell & BP の比較

これまでに ExxonMobil、Shell 及び BP(いわゆるスーパーメジャー)各社の業績を概観したが、ここではこれら 3 社を横並びで比較してみる。

(2008~2012 年各社業績比較一覧表参照)

<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/1-D-4-93.pdf>

1. 2012 年の売上・利益・投資の比較

(1)売上高

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93f.pdf> 参照)

売上高が最も大きいのは ExxonMobil の 4,823 億ドルであり、次いでシェルがほぼ同額の 4,817 億ドルである。BP の売上は 3 社の中で最も少ない 3,709 億ドルであり、ExxonMobil 或いは Shell の 8 割弱にとどまっている。

(2)利益

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93g.pdf> 参照)

ExxonMobil の 2012 年 1-12 月の利益は 449 億ドルであり、他の 2 社に比べ圧倒的に多い。Shell の利益は 266 億ドル、BP のそれは 116 億ドルであり、Shell は ExxonMobil の 6 割、BP は 3 割弱にとどまっており売上高(上記)に比べ利益の開きが大きい。売上高利益率は ExxonMobil の 9.3%に対し、Shell は 5.5%、BP3.1%であり、スーパーメジャーといわれる 3 社間の格差は大きい。

(3)設備・探鉱投資

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93g.pdf> 参照)

3 社の設備投資額は ExxonMobil が 398 億ドルと最も多く、次いで Shell が 326 億ドル、BP は最も少ない 243 億ドルであった。BP は当期利益額を上回る設備投資を行っているもののその額は ExxonMobil の 6 割にとどまっている。

2. 2012 年の石油・天然ガス生産量の比較

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93h.pdf> 参照)

(1)石油

3社の中で2012年の石油生産量が最も多かったのはExxonMobilで平均日産量は2,185千B/Dであった。これに次ぐのがBPの2,055千B/D、シェルは3社の中で最も少ない1,633千B/Dであった。BPはExxonMobilの94%、Shellは75%にとどまり、特にShellは石油生産部門が他の2社に比べてかなり劣っていると言える。前年(2011年)の生産量と比較するとExxonMobil5.5%減、Shell2%減、BP4.7%減であり、3社とも減少している。3社とも近年の石油生産量は低落傾向にあり問題含みと言えそうである。

(2)天然ガス

3社の天然ガス生産量はExxonMobilが123億立法フィート/日(以下cfd)、Shell94億cfd、BP74億cfdであった。これを昨年と比べると、ExxonMobilは6.4%減、Shell5.2%増、BP1.7%減でShellのみが前年比で増加しており、ExxonMobilの落ち込み幅が大きい。

(3)石油・天然ガスの合計生産量

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93h.pdf> 参照)

上記(2)の天然ガス生産量を石油に換算し、(1)の石油と合計した生産量で比較すると、合計生産量が最も多いのはExxonMobilの4,239千B/Dであり、これに次ぐのがBP(3,331千B/D)、Shellは3社の中では最も少ない3,262千B/Dであった。ExxonMobilは他の2社に比べかなり生産量に差がある。

各社の石油と天然ガスの比率はExxonMobilが52%対48%、Shellが49%対51%でほぼ同量であるが、ExxonMobilは石油が天然ガスより多いのに比べ、Shellは逆に天然ガスが石油の生産量を上回っている。BPは石油62%、天然ガス38%であり他の2社に比べ石油の比率が高い。

なおShellの決算資料にはLNGの販売量として2,020万トン(年間)が示されており、Shellの売上高がBPを上回っているのはそのためと考えられる。(BP、ExxonMobilもLNGを取り扱っていると考えられるが、具体的な数値がホームページの決算概要に示されていないのでLNGに関して3社を比較することはできない。)

因みにBP統計(BP Statistical Review of World Energy 2012)による2011年の国別生産量とこれら3社を比較すると、ExxonMobilは世界第6位のカタール(合計生産量4,253千B/D)とほぼ並んでおり、BPとShellは同10位ノルウェー(同3,787千B/D)と11位ベネズエラ(同3,258千B/D)の中間に位置している。

2. 2008～2012年の売上・利益・設備投資の比較

(1)売上高の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93i.pdf> 参照)

ExxonMobilの2008～12年の5年間の売上高の推移4,774億ドル(08年)→3,106億ドル(09年)→

3,832 億ドル(10 年)→4,864 億ドル(11 年) →4,823 億ドル(12 年)であった。また同期間中 Shell は 4,709 億ドル→2,851 億ドル→3,782 億ドル→4,845 億ドル→4,817 億ドル と推移し ExxonMobil をわずかに下回る規模であった。BP の場合は 3,611 億ドル→2,393 億ドル→2,971 億ドル→3,755 億ドル→3,709 億ドルであり、他の二社と隔たりがあった。

各社とも 2008 年から 2009 年にかけて売上は急減した後、2010 年、2011 年と 2 年連続して売上は急増し、2011 年に過去最高の売上を記録、2012 年はほぼ横這いとなっている。5 年間を通じて常に ExxonMobil がトップを占めているが ExxonMobil と Shell の差は極めて小さい。BP は 3 社の中で常に売上が最も小さく、2010 年以降は上位 2 社と一千億ドル以上の格差が続いている。

(2)利益と売上高利益率の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93j.pdf> 参照)

利益額は 5 年間を通じて ExxonMobil が毎年トップであり、2008 年、2011 年及び 2012 年には 400 億ドル台の年間利益を計上している。2008 年の利益が 263 億ドルであった Shell は 2009 年には 125 億ドルに半減し BP にも追い抜かれたが、2010 年以降の利益は 201 億ドル→309 億ドル→266 億ドルと回復している。しかし ExxonMobil との利益格差はむしろ拡大する傾向にあり、2011 年は ExxonMobil の 75%であったが、2012 年には 59%にとどまっている。

BP の場合は利益の変動が激しく、212 億ドル(2008 年)→166 億ドル(2009 年)→マイナス 37 億ドル(2010 年)→257 億ドル(2011 年)→116 億ドル(2012 年) と 2009 年以降は激しいアップダウンを繰り返している。2010 年に利益がマイナスに転落したのはメキシコ湾暴壊事故の影響である。翌 2011 年には Shell をしのぐ利益を計上し、スーパーメジャーの底力を見せたが 2012 年には再び急落している。メキシコ湾事故については今も巨額な民事訴訟のリスクを抱えており、またロシアにおいては現地合併事業 TNK-BP とロスネフチの合併問題を巡り TNK-BP のロシア側株主との合意形成が遅れロシアにおける事業拡大が足踏みするなどトラブルが相次いでいる。ExxonMobil、Shell のように安定した利益を維持することが最大の課題である。

3 社の 2008 年から 2012 年までの売上高利益率の推移を見ると、ExxonMobil は 9.5%(08 年)→6.2%(09 年)→7.9%(10 年)→8.4%(11 年)→9.3%(12 年)と平均 8.3%の高い利益率を示している。Shell の場合は 5.6%(08 年)→4.4%(09 年)→5.3%(10 年)→6.4%(11 年)→5.5%(12 年)であり、ExxonMobil ほどではないがほぼ 5~6%の利益率を確保している。これに対し BP の場合は利益率の変動が激しい。同社の過去 5 年間の利益率は 5.9%(08 年)→6.9%(09 年)→ マイナス 1.3%(10 年)→6.8%(11 年)→3.1%(12 年)であり、2009 年には 3 社中で利益率が最も高かったがその後はぶれが激しい。

(3)設備・探鉱投資の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93k.pdf> 参照)

過去 5 年間の設備投資額は ExxonMobil が 261 億ドル(08 年)→271 億ドル(09 年)→322 億ドル(10 年)→368 億ドル(11 年) →398 億ドル(12 年)と毎年前年を上回るペースの投資を行っている。これに

対し Shell は 2008 年に 351 億ドルと ExxonMobil を上回る投資を行ったが 2009 年以降は 265 億ドル(09 年)→269 億ドル(10 年)→263 億ドル(11 年)と 260 億ドル台の水準の投資が続き、2012 年に漸く 300 億ドル台に戻りしている(326 億ドル)。BP の場合は毎年の投資額にかなり大きな変動が見られ、307 億ドル(08 年)→203 億ドル(09 年)→230 億ドル(10 年)→315 億ドル(11 年) →243 億ドル(12 年)であった。

3. 2008～2012 年の石油・天然ガス生産量の比較

(1)石油生産量の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93l.pdf> 参照)

2008 年の石油生産量は ExxonMobil が最も多く 2,405 千 B/D であり、BP がほぼ同じ 2,401 千 B/D であった。Shell はこれら 2 社より 3 割近く少ない 1,771 千 B/D であった。その後、ExxonMobil は 2010 年の 2,422 千 B/D をピークに減少傾向をたどり 2012 年には 2,185 千 B/D と、5 年前に比べ 10%近く落ち込んでいる。このような長期的な石油の生産減少は他の 2 社にも見られることであり、BP 及び Shell の 2012 年の生産量を 2008 年と比べるとそれぞれマイナス 16%、マイナス 8%となっている。

(2)天然ガス生産量の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93m.pdf> 参照)

天然ガスの生産量の推移を見ると 2008 年及び 2009 年の 2 年間は 3 社の天然ガスの生産量に大きな変化はなかった。即ち 2 年間の各社の生産量は、ExxonMobil が 9,095mcf(08 年)→9,273mcf(09 年)、Shell は 8,569mcf→8,483mcf、BP は 8,334mcf→8,485mcf であった。ExxonMobil は他の 2 社より 5～8 億 cfd 多く、Shell と BP は殆ど差がなかった。

しかし 2010 年に ExxonMobil のガス生産量は対前年比で 31%の大幅な伸びを示して 100 億 cfd を突破(12,148mcf)、2011 年も 8%増加して 132 億 cfd に達した。これに対して Shell は 2010 年は対前年比で 10%増加した(9,305mcf)が 2011 年は 90 億 cfd に減少し、BP は 2010 年、2011 年と 2 年連続して減少、2011 年の生産量は 75 億 cfd となり、ExxonMobil と Shell および BP の差は拡大している。2012 年は ExxonMobil の生産量が減少する一方、Shell の生産量が増加したため両者の差は縮小している。このような推移の結果、5 年前の 2008 年には大きな差が無かった 3 社の天然ガス生産量の差が拡大し、ExxonMobil、Shell、BP の順位が固定化しつつある。ExxonMobil が積極的な M&A で生産増を図る一方、BP は 2010 年のメキシコ湾事故の対応に追われ天然ガス鉱区の売却を余儀なくされたためであり、3 社の明暗がくつきりと分かれたのである。

(3)石油・天然ガス合計生産量の推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93n.pdf> 参照)

天然ガスを石油に換算し合計した生産量を見ると 2008 年は ExxonMobil が 3,921 千 B/D、BP 3,838 千 B/D、Shell 3,248 千 B/D であり、ExxonMobil が 3 社のトップであるが、その差は大きくなかった。しかし ExxonMobil は 2010 年以降に天然ガスの生産量を大幅にアップした結果、石油換算の合計生産量では 4 百万 B/D 台を維持しているのに対し、Shell は 08 年 325 万 B/D→09 年 315 万 B/D→

10年 331万 B/D→11年 322万 B/D→12年 326万 B/Dと5年間横這い状況である。またBPの場合は08年 384万 B/D→09年 400万 B/D→10年 382万 B/D→11年 345万 B/D→333万 B/Dと過去4年間は生産量の下落が止まらない状況である。この結果、2008年、09年にExxonMobilと肩を並べていたBPは2012年にはShellと同じ生産水準に落ちている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp